

平成30年第12回狭山市定例教育委員会会議録

開催日時 平成30年12月18日(火)  
午後1時30分から午後2時26分まで

開催場所 市役所 5階 教育委員会室

出席者 教 育 長 向 野 康 雄  
教育長職務代理者 吉 川 明 彦  
委 員 橋 本 秀 樹  
委 員 宮 崎 英 子  
委 員 後 藤 邦 江

欠席者 な し

委員及び傍聴人を除くほか、議場に出席した者の氏名

生涯学習部長	滝 嶋 正 司	次長兼教育総務課長	杉 田 幸 伸
社会教育課長	田 中 肇 夫	中央公民館長	内 藤 光 重
スポーツ振興課長	五十嵐 和 也		
学校教育部長	和 田 雅 士	参事兼教育指導課長	伊 藤 秀 一
教育センター所長	紫 竹 理 枝子	書 記	堀 川 清 美

傍聴者数 0名

報告事項

- 平成30年第4回狭山市議会定例会の概要について

報告者(生涯学習部長)  
(学校教育部長)

(要旨)

会期は、11月28日(水)から12月14日(金)までの17日間であり、議案は条例新規1件、指定管理8件及び補正予算1件、合計10件である。一般質問については、17名で、うち教育委員会関係は9名であった。土方隆司議員からスポーツ振興について、三浦和也議員から英語教育について、千葉良秋議員から学校教育における、環境学習について、大沢えみ子議員から公民館の在り方について、旧狭山台幼稚園の活用について、笹本英輔議員から家庭教育支援の充実について、綿貫伸子議員から子育て支援について、望月高志議員から通級指導教室について、西塚和音議員から地域交流施設について及び斎藤誠議員から通学時の安心安全について、それぞれ質問があり、それに対する答弁の内容について報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、1年生が重いランドセル背負っているという質問があったとのことであるが、どのくらいの重量を背負っているのかとの質疑に、平均で5kg近くのを背負っており、重いときは6kgを超える日もある。学校でも、なるべく軽くなるように、毎日使わない絵の具セット、習字セット、楽器類については学校に置いておいても良いとしているが、衛生上から上履きや給食着等については週末に持ち帰り月曜日に持ってくるということで、週末と月曜日は荷物が多くなってしまいう状況は否めない。また、重い理由についてはいろいろと分析等もされているが、学習指導要領の改訂により学習内容が増えたことと教科書のサイズがA4版になり重量が増えていることが考えられる旨の答弁がなされた。

・平成30年度博物館秋期企画展の開催結果について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

秋期企画展「日本風景画の巨匠 吉田博展」は、9月29日（土）から11月25日（日）までの51日間開催し、延べ5,567人1日平均109人の入館者があった。今回の企画展では、狭山市在住の作者の遺族が収蔵している明治から昭和にかけての風景画の世界で活躍した吉田博氏の版画や日本画などの作品を一同に展示した。また、企画展の期間中関連事業として、オリジナルグッズの販売、ギャラリートーク、さやま大茶会関連事業や秋のまいいい体験講座などを開催した。なお、アンケート結果については、アンケートに解答していただいた方の約93%が「とても良い」、「良い」との回答であった旨の報告がなされた。

・平成30年度博物館冬期企画展の開催について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

博物館の冬期企画展「わがまち狭山の平成展 ー出来事に見る30年の軌跡ー」は、12月19日（水）から平成31年2月17日（日）までの49日間開催する。今回の企画展は、平成の改元にあたり、平成の世相を年表として一覧にするほか、平成年間における狭山市での出来事や流行したもの、未来に伝えていきたいものに焦点をあてて展示する。企画展の会期中、関連事業として、「わたしたちの平成掲示板」、「平成展おりぴい1日館長」、「無形文化財、笹井豊年足踊りの実演」、「冬のまいいい体験講座」等を開催する旨の報告がなされた。

・第36回狭山市文化財防火デー防火訓練について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

平成31年1月26日（土）、午前9時から柏原白髭神社を会場に、防火訓練

を開催する旨の報告がなされた。

- ・クロスカントリー in Sayama 2018の開催結果について

報告者（スポーツ振興課長）

（要旨）

12月9日（日）県営狭山稲荷山公園特設コースで開催した。埼玉県内はもとより1都1道1府12県から1,153名の参加申し込みがあり、ファミリーの部から60歳以上のシニアの部まで当日は1,102人の完走者で盛大に開催することが出来た旨の報告がなされた。

- ・平成30年度英語活動体験教室（低学年）の実施結果について

報告者（教育センター所長）

（要旨）

10月27日（土）に教育センターで行った。本事業は、中学年・高学年は実施しており、低学年としては新規の事業となる。語学指導助手（ALT）との会話を通して、言語や文化について体験的に理解を深めるとともに、コミュニケーションを通して、英語の楽しさを味わわせることをねらいとしている。定員60名のところ184名が参加し興味の高さを物語っている旨の報告がなされた。

- ・中学生学習支援事業「さやまっ子・茶レンジスクール」冬季集中講義について

報告者（教育センター所長）

（要旨）

市内全8中学校区において、12月25日（火）から27日（木）の3日間、塾の講師による数学と英語の講義を、中学2、3年生を対象に実施する。参加申込みは129名であった旨の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、学校によって申込み人数にばらつきがあるがとの質疑に、生徒数が偏っているということもあるが、塾に通っていて参加していない生徒もいる旨の答弁がなされた。

- ・平成30年度狭山市小中学生英語フェスティバルについて

報告者（教育センター所長）

（要旨）

他校の児童・生徒や語学指導助手（ALT）等と、英語を通して交流し、他者と積極的にコミュニケーションを図る態度を養う機会とすることを趣旨に実施する。日時は、平成31年2月2日（土）9時20分から12時30分、場所は教育センターである。対象は、市内在住の小中学生で、中学生には運営補助ボランティアとしても参加してもらおう。内容は、グループ、個人などによる英語の歌・劇・スピーチ・暗唱などのステージ発表会である。なお、今回、参加費は、ゲームをせずに発表会を集中して行うことから昨年度の半分とした旨

の報告がなされた。

- ・平成30年度狭山市立教育センター調査・研究事業 研究委員会研究発表会（本発表）について

報告者（教育センター所長）

（要旨）

日時は、平成31年2月15日（金）を予定している。場所は、入間川小学校である。内容としては、全体会、学社融合研究委員会の発表、分科会となっている旨の報告がなされた。

- ・各種審議会等の会議結果概要について

報告者（社会教育課長）  
（中央公民館長）

（要旨）

平成30年度第2回狭山市文化財保護審議会及び平成30年度第2回狭山市公民館運営審議会について、その概要の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、公民館運営審議会の狭山市立公民館・狭山市地区センターの狭山市地域交流施設（仮称）への再編に関する計画（案）については、どのような意見等があったのかとの質疑に、主な意見の項目では、2020年4月の入曽公民館の建て替えにあわせて全館を再編というのでは早急すぎるのではないかとの意見。公民館が今抱えている課題について地域交流施設に再編すれば解決できるのか、公民館のままでも可能ではないか、膨大なエネルギーを使って再編をするということに対する疑問を感じているという意見。また、教育という「たが」がはずれてしまうことに対する意見。もう少し審議会のなかでも検討したいという意見。市に対しては、今までに出た質問や意見を十分に反映させた検討をお願いしたいといった意見等があった旨の答弁がなされた。

- ・狭山市教育委員会後援名義の使用行事一覧について

報告者（スポーツ振興課長）  
（教育指導課長）  
（社会教育課長）

（要旨）

スポーツ振興課関係2件、教育指導課関係2件及び社会教育課関係1件の申請があり、審査の結果、使用許可を行った旨の報告がなされた。

以 上